

エイミー　すべて話して　向き合うこと

二人　近づくほど　離れてく

惹き合う心
変わらなくても

扉を開けるのが怖い
踏み出せず　まだ

過去に捕らわれ
明日を犠牲に
どうすればいい

ベン　照らしてくれ　過去を

エイミー　過去の影

照明OUT。ベン退場。エイミー上着着て髪アップに。

SCENE NINE - BEFORE (5)

丘の上でエイミーが一人。ベンがやってくる。

ベン　はあー！　この丘、登るたびに斜面が急になってる気がする。それでもこの景色のためなら何度だって来るけどね。今日の夕日も最高だ！
そして君も…美しい！　遅れて悪かったね。ちよつと急用ができちゃって。さつさと済ませようと努力したんだけど、なかなか抜けられなくて…あーもー！　って。でも僕抜きで始めてたみたいだね。うん、そうしてくれてよかった。電話しようと思ったんだけど、何故かずっと圏外でさ。サンドウィッチ残ってる？

エイミー　（間）…どこにいたの？

ベン　だから急用が…

エイミー　どんな？　バーテンダーの急用って、何？　ピーナッツに塩が足りなくてひと粒ずつ味付けしなきゃいけなかったとか？

ベン　違うよ。友達が…前にも話したことがあると思うけど、それから連絡があつて…

エイミー　帰ったわ。

ベン　帰った？

エイミー　父よ。私がつつと説得してきて、ようやくあなたに会ってもらう約束を取り付けた父。自分を認めてくれないってあなたがいつも気にして

た父。あなたがその、自由気ままな少年のような魅力で心をつかもうとしていた、私の父よ！

ベン
悪かったよ。

エイミー
どうして来てくれなかったの？

ベン
こんなことを言うべきタイミングじゃないんだろうけど…怒ってる時の君ってすごくセクシー…

エイミー
ベン！

ベン
ごめん。

エイミー
彼が忙しい人だって、知ってるじゃない。せつかく時間を作ってくれたのに。あなたに会うために来るのわかってたでしょ。

ベン
大丈夫だよ、お父さんだって大人なんだから！

エイミー
私は父を尊敬しているの。あなたも少しは敬意を払うべきだって言ってるよ。

ベン
わかってるよ。

エイミー
私、馬鹿みたいじゃない。パパにあなたのことをあんなに説明してきたのに！

ベン
へえ、そんなに説明しないと安心してもらえないんだ、僕は。まあ負け組の貧乏画家じゃ仕方ないか！

エイミー
そんなこと…

ベン
スーツを着て仕事に行かないから？ デスクでくだらない…ごめんごめん、「ワークステーション」でくだらないパソコン画面を一日中眺めて過ごさないから？

エイミー
あなたが信頼できない人だからよ！あなたはいつも口ばかり。愛してるわ、ベン。だけど、実現しそうにもない未来をいつまでも待ち続けるなんて嫌。一緒に部屋を借りるんじゃないかったの？

ベン
借りるよ！

エイミー
いつよ？ 物価の高い街なのよ？ それこそ父に援助してもらえたかもしれないのに…

ベン
そういうことか！ 僕が飼いならされた彼氏を演じればパパがお小

遣いをくれて、ヤングセレブ向けのマンションが借りられたってわけか！ 悪いけどそんなことのために、僕を見下してる奴にしおらしい態度で取り入るなんてごめんだね！

エイミー
それですっぽかしたの？ 急用なんて嘘。自分は私や父にはもったいないと思ったんだ。

ベン
違うよ！

エイミー
どうせ私は、都合よく扱われてポイ捨てされる馬鹿な女よ！

ベンがポケットから不動産の資料を取り出しエイミーに渡す。

ベン
「スタジオ・フラット」。つまり、「ワンルーム」ってこと。「振興地域」、つまり戦場みたいに荒れ果てた地域。「Exer-upper」、つまり、「ボロ家」。それでも他に十二組も興味を持ってた人がいたんだよ。だから、すぐに行って敷金を払ってこなきゃならなかったんだ。全財産を渡してきた。

エイミー
ベン！

ベン
わかってる、君は正しいよ。確かに僕はいつも口先ばかりだし、今日も約束を守るべきだった。お父さんに気に入ってもらえないのが怖かったのも事実だし、せめて電話一本入れるべきだった。心から反省してる。だから仲直りのエッチしよう？

エイミー
時々本気で殺したくなるわ……。 (いっぺん死ね！)

ベン
部屋を見せるのが怖いな。

エイミー
家賃は大丈夫なの？ 本当に私たちに払える？

ベン
仕事を増やすよ。

エイミー
もう増やしたじゃない。

ベン
もうひとつ増やすよ。なんとかするから。

エイミー
絵を売れば……

ベン
エイミー、その話はやめよう。

エイミー
稼げるうえに名前も売れるのに？

ベン
すでにこんなにイケメンでセクシーなのに金と名誉まで手に入れたら大変だよ。危険だ。

エイミー わかったわ。絵のことはもう言わない。

ベン 部屋、見に行くだろ？

エイミー まあ…

ベン なにそれ。もうちょっとテンション上げてよ！

エイミー 家賃も払えそうにないそのボロ物件にさっさと連れて行かないとぶっ殺すわよ！

ベン その調子だ！

MI6 The Next Step

過去はもう 振り返らず
前だけ見てゆこう
うまくいくさ

道のりは長いけど
辿り着ける
時間かければいい
信じていて

僕らの JOURNEY
楽しもう
景色を眺めながら
さあ 始めよう
一緒に見よう
どんな明日も
飛ぶこと恐れないで
そう ここから始めればいい

大丈夫だって。僕が保証する。二人でいればうまくいく。

ひとつだけ約束をしよう
足並みを揃えて 歩こう
でこぼこ道でも 手を繋ぎ
進めるはずさ
一人じゃできない
隣にいと誓って
君となら もう何も怖くない

エイミー
あまり雰囲気の良いエリアじゃないわね